

# 平成25年2月期 第2四半期決算参考資料

米久株式会社  
(東証一部：2290)

## 1. 当第2四半期連結累計期間の業績に影響を与えた主な項目 ※ 1)～8)は対前年同期比較

- 1) 豚肉・鶏肉は国産相場が低迷、豚肉が10%、鶏肉が20%それぞれ下落
- 2) 食肉全体では数量が16.0%の大幅増加も、相場下落により売上は1.4%の微増
- 3) 消費者の節約志向及び市場競争激化により加工品の販売単価が1.2%下落
- 4) 加工品主原料価格はハム・ソーセージともに低下、一方で副原料の羊腸価格が上昇
- 5) テレビコマーシャルの放映地域を拡大、御殿場高原あらびきポークは数量が2.3倍に増加
- 6) コンシューマ商品の増加と大龍ブランドの中華冷凍惣菜の販売開始により、デリカ売上は6.4%増加
- 7) 物流費・広告宣伝費・人件費が増加、売上高販管費率が0.8ポイント上昇
- 8) 有価証券売却益、震災損失、資産除去債務等、前年同期における一過性の特益・特損による影響が解消
- 9) 持分法適用会社の事業拡張投資、また国産鶏肉市況の悪化を受け、持分法投資損失を計上
- 10) 生ハムの製品自主回収により、58百万円の特別損失が発生

## 2. 当第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年8月31日)の連結業績

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	年初公表予想	金額単位 百万円
					H24/2月期通期
売上高	70,008	68,103	2.8	78,000	140,796
営業利益	△250	953	-	1,000	1,717
経常利益	△320	1,072	-	940	2,018
四半期純利益	△401	739	-	450	1,359
EPS(円)	△15.52	26.69	-	-	49.62
ROE(%)	△1.1	2.0	-	-	3.6
ROA(%)	△0.1	1.8	-	-	3.4

注)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出してあります。

## 3. 第2四半期連結累計期間の連結業績推移

金額単位 百万円

	H21/2期 第2Q	H22/2期 第2Q	H23/2期 第2Q	H24/2期 第2Q	H25/2期 第2Q
売上高	84,831	82,234	65,653	68,103	70,008
営業利益	2,641	1,689	807	953	△250
経常利益	2,713	1,691	826	1,072	△320
四半期純利益	550	467	505	739	△401
純資産	39,871	40,956	37,001	37,502	35,504
総資産	80,914	80,541	62,685	63,646	61,206
一株当たり純資産:円	1,219.88	1,227.75	1,332.23	1,351.51	1,397.40
一株当たり四半期純利益:円	19.14	16.28	18.24	26.69	△15.52

#### 4. 第2四半期連結累計期間セグメント別業績の二期比較

金額単位 百万円

	平成24年2月期 第2Q		平成25年2月期 第2Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
報告セグメント				
加工品事業	26,948	600	28,204	135
食肉事業	39,678	407	40,231	△380
小計	66,627	1,008	68,436	△244
その他	1,475	△54	1,572	△6
連結財務諸表計上額	68,103	953	70,008	△250

#### 5. 連結子会社一覧

金額単位 百万円

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	10,144	6,790	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	941	443	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	3,635	3,416	冷凍デリカ製品の製造・販売
<b>国内加工品生産会社計</b>		<b>14,721</b>	<b>10,650</b>	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,176	974	ソーセージの製造
<b>海外加工品生産会社計</b>		<b>1,176</b>	<b>974</b>	
米久おいしい鶏(株)	100.0	5,115	3,650	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	994	371	牛肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	100.0	2,011	673	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	1,307	554	豚肉の生産・加工・販売
(農)広島県東部養豚組合	-	675	1,023	養豚
<b>食肉供給会社計</b>		<b>10,104</b>	<b>6,273</b>	
御殿場高原 ビール(株)	84.9	722	736	地ビールレストランの経営
(株)平田屋	100.0	645	763	菓子の製造・販売
<b>その他の会社計</b>		<b>1,367</b>	<b>1,499</b>	
<b>&lt; 連結子会社合計 &gt;</b>		<b>27,370</b>	<b>19,398</b>	

持分法適用関連会社2社

・加工品・食肉事業

MIY(株)

・食肉事業

ときめきファーム(株)

## 6. 当第2四半期連結累計期間の業績

### (1) 売上高

加工品事業では、ハム等においてコンビニ向けが増加したものの、量販店向けのロースハムが減少し、売上高・数量は微減となりました。一方、ソーセージはコンシューマ商品が増加、デリカも主力商品が総じて好調に推移し、ともに売上高・数量が増加しました。これらにより、加工品事業全体では、売上高が4.6%、数量が3.3%それぞれ増加しました。

食肉事業では、まず豚肉は、国産が増加するとともに、北米産冷蔵豚肉も好調に推移し、売上高・数量が増加しました。また、牛肉も国産・輸入品ともに増加し、売上高・数量が増加しました。一方、鶏肉は国産・輸入品ともに数量が大きく増加しましたが、相場的大幅な下落により売上高は減少しました。これらにより、食肉事業全体では売上高が1.4%、数量が16.0%それぞれ増加しました。

なお、加工品事業の売上高は282億4百万円、食肉事業の売上高は402億31百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ19億5百万円増加し700億8百万円(2.8%増)となりました。

### (2) 売上総利益

加工品事業では、副原料価格が上昇したものの、売上高・数量の増加により売上総利益は前年同期に比べ3.5%増加しました。一方、食肉事業では数量を大幅に増加させたものの、国内食肉相場低迷の影響により、売上総利益は前年同期に比べ18.3%減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は前年同期に比べ3億69百万円減少し93億5百万円(3.8%減)、売上総利益率は0.9ポイント下落し13.3%となりました。

### (3) 販管費、営業利益

加工品事業では、広告宣伝費の増加などにより販管費は前年同期に比べ13.0%増加し、営業利益は1億35百万円(77.4%減)となりました。食肉事業では、物流費の増加などにより販管費は前年同期に比べ5.8%増加し、営業利益は3億80百万円の損失(前年同期は4億7百万円の利益)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販管費は前年同期に比べ8億33百万円増加し95億56百万円(9.6%増)となり、売上高販管費率は0.8ポイント上昇の13.6%となりました。また、営業利益は12億3百万円減少し、2億50百万円の損失(前年同期は9億53百万円の利益)となりました。

### (4) 営業外収支、経常利益

営業外収益が前年同期に比べ4百万円減少、営業外費用は1億84百万円の増加となりました。なお、持分法による投資損失は1億59百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期に比べ13億92百万円減少し、3億20百万円の損失(前年同期は10億72百万円の利益)となりました。

### (5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別利益は、投資有価証券売却益の減少等により5億27百万円減少、また特別損失は、ロース生ハムの一部製品自主回収費用を計上したものの、前年同期における資産除去債務会計基準の初年度適用の影響や東日本大震災関連の損失が解消し、2億35百万円減少しました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期に比べ16億84百万円減少し、3億77百万円の損失(前年同期は13億7百万円の利益)となりました。また、法人税等は5億45百万円減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期に比べ11億41百万円減少し、4億1百万円の損失(前年同期は7億39百万円の利益)となりました。

## 7. 下半期の業績に影響を与える主な項目 ※ 1)～7)は対前年同期比較

- 1) 食肉の国内相場は、前年同期に比べ豚肉は同水準、牛肉は上回るも、鶏肉は大幅に下落と予想
- 2) 加工品の主原料価格は低下と予想
- 3) 副原料価格は羊腸価格が低下するも、その他添加物が上昇と予想する(全体としてマイナス要因)
- 4) コンシューマ商品を引き続き拡大、加工品の売上増加を見込む
- 5) 加工品生産会社は増産とともに生産効率を高めて原価率を低減、増益を見込む
- 6) 米久おいしい鶏(株)は処理羽数が40万羽増加するものの、相場低迷の影響により減益と見込む
- 7) 米久デリカフーズ(株)は、不採算部門の売却による特別損失を見込むも、大龍事業等に伴う増産効果により増益を見込む
- 8) 為替レートは足元の状況を勘案し、1ドル=80円と想定

## 8. 通期業績予想

金額単位 百万円

	今回予想	前期実績	伸び率(%)
	金額	金額	
売上高	150,000	140,796	6.5
営業利益	1,400	1,717	△18.5
経常利益	1,300	2,018	△35.6
当期純利益	400	1,359	△70.6
E P S (円)	15.46	49.62	△68.8

## 9. 設備投資及び減価償却費

### (1) 設備投資額

金額単位 百万円

		金額	主な内容(通期予想では下半期における内容を記載)		
連結	上半期実績	1,291	米久おいしい鶏	鶏糞ボイラー他	135
			米久かがやき	加工品生産機械他	246
			米久	団子ライン他	210
	通期予想	4,550	米久おいしい鶏	鶏舎建設	1,445
			米久デリカフーズ	包装ライン効率化他	238

### (2) 減価償却費

金額単位 百万円

		金額
連結	上半期実績	1,111
	通期予想	2,312